

2023年（令和5年）上期 景気動向調査結果

和歌山商工会議所

～景況感は「持ち直し」の傾向
「仕入・原材料単価、エネルギー価格の高騰」「人手不足」が課題～

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2023年1月1日から2023年6月30日（2023年（令和5年）上期）
- 調査実施期間 : 2023年7月1日から2023年7月18日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・副会長・女性会・青年部・振興委員538事業所
- 回答数 : 回収数 194 （回収率 36.1％）

業種		従業員数	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
製造業			10	10	12	7	16	55
非製造業	建設業		5	4	5	1	3	18
	小売業		18	3	5	0	2	28
	卸売業		6	3	8	3	3	23
	サービス業		13	15	5	5	7	45
	その他業		4	5	4	4	8	25
合 計			56	40	39	20	39	194

● 概 要

2023年上期（1月～6月）の景況感は、主要指標である業況、売上、採算の各DI値を見ると、製造業では業況DI値が改善、売上DI値は前期比マイナスとなったがプラス域（増加、やや増加）で推移、採算はマイナス域（悪化、やや悪化）で推移するも前期比では改善傾向を示した。業況DI値の改善要因としては、コロナによる制限の解除による経済活動の活発化が挙げられた。非製造業では業況DI、売上DI、採算DIともに前期比で改善したが、製造業と同様に採算DIはマイナス域で推移し、依然として「原材料価格、エネルギー価格の高騰」や「人件費の高騰」などが利益率を圧迫していることが伺えた。とりわけ、小売業では「客数の減少」や「顧客の購買意欲の低下」、また「従業員不足」などを要因として業況、売上、採算全てのDI値で前期比マイナスとなり、他の業種に比べ厳しい状況が伺えた。一方、採算が好転、やや好転した要因として「販売価格の値上げ」が挙げられ、価格転嫁への取組が利益確保に繋がっていることも伺えた。

直面する課題（10ページ）として、前期に引き続き、非製造業のその他業を除き「仕入・原材料単価の上昇」が挙げられた。製造業では、次いで「燃料費（電気料金含む）の高騰」、「人件費の増加」が挙げられた。非製造業のうち、建設業で「下請負単価の上昇」が上位の課題として新たに挙げられ、次いで「需要の停滞」が挙げられた。小売業で「従業員・熟練技術者の確保難」「製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応」、卸売業では前期同様に「需要の停滞」「燃料費の高騰」が挙げられた。サービス業においても前期同様「人件費の増加」「従業員・熟練技術者の確保難」が挙げられ、その他業では「燃料費の高騰」が前期に引き続き最も多く、次いで「人件費の増加」「従業員・熟練技術者の確保難」が挙げられた。

先行きについては、製造業、非製造業とも業況は今期に引き続き改善傾向の見通しが示された。製造業では「受注が堅調」「取引先が回転しだした」、非製造業のうち卸売業では「コロナからの脱却」、「飲食業界の売上UP」などが好転要因として伺えた。一方、建設業、サービス業、その他業では「資材・燃料価格の高騰」「受注の見通しが不透明」などの声が伺え、今期比でマイナスとなり、今後も懸念材料を払拭できない不安定な状況が続く見通しとなった。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み（抜粋）

● 製造業

- ・新たな設備投資
- ・新製品・新市場の開拓
- ・人事制度の見直し
- ・従業員の技能向上
- ・SDGs及びSedexサプライチェーン、ISO（品質）

● 非製造業

- ・働き方改革
- ・人手不足対策
- ・新たな収益事業の構築
- ・SDGs
- ・2024年問題への対応

※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、景気動向を示す指標。「好転（やや好転を含む）」、「増加（やや増加を含む）」、「上昇（やや上昇を含む）」したとする企業割合から、「悪化（やや悪化を含む）」、「減少（やや減少を含む）」、「低下（やや低下を含む）」したとする企業割合を差引いた値。

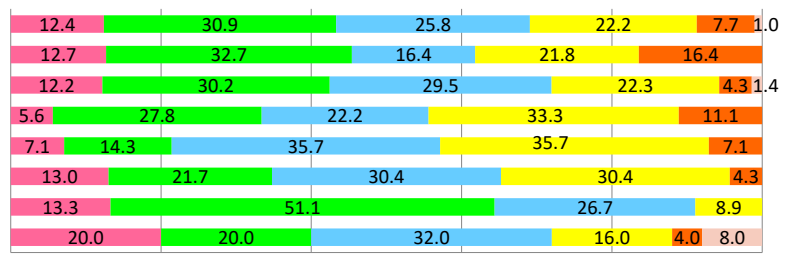
【業況DI値】

今期(2023年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 13.4 前期比 13.4)
製造業	(今期 7.2 前期比 3.5)
非製造業	(今期 15.8 前期比 17.4)
建設業	(今期 ▲11.0 前期比 41.9)
小売業	(今期 ▲21.4 前期比 ▲6.4)
卸売業	(今期 0.0 前期比 10.3)
サービス業	(今期 55.5 前期比 38.5)
その他業	(今期 20.0 前期比 ▲15.7)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2023年1月～6月)の状況

製造業で7.2(前期比+3.5)、非製造業で15.8(前期比+17.4)、全業種で13.4(前期比+13.4)となり、製造業は前期からさらに好転、非製造業では、小売業とその他業で前期比マイナスとなったものの全体としてはプラスに転じた。
製造業では「コロナによる制限の解除」により経済活動が活発化する中で、好転している事業所が増加。非製造業のうち小売業では仕入価格の上昇などに伴う「販売価格の値上げの影響」、「客足の減少」などにより悪化傾向、その他業はプラス域で推移しているものの「物価高」や「景気低迷」などの理由から前期比でマイナスとなったが、サービス業では「コロナの5類移行」に伴う旅行客の回復(インバウンドを含む)など好影響により大きく好転し、非製造業全体をプラスに押し上げた。

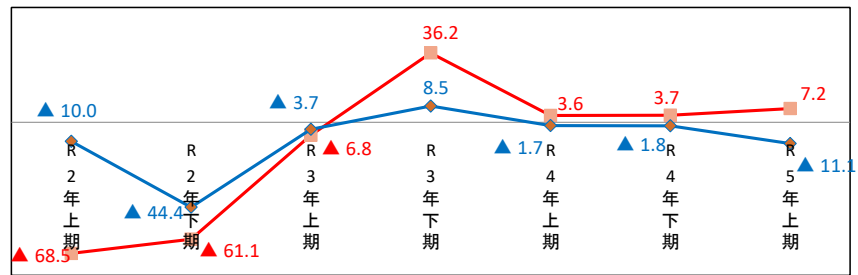
※前期比とは、前回調査(令和4年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 今期のDI値

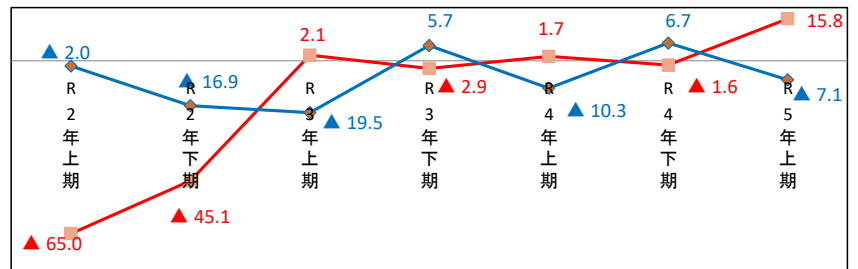
◆ 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■ 今期のDI値

◆ 前期調査時点での
今期見通し

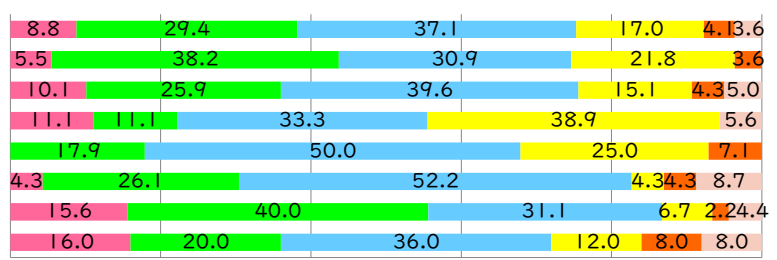


来期(2023年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 17.1 今期比 3.7)
製造業	(見通し 18.3 今期比 11.1)
非製造業	(見通し 16.6 今期比 0.8)
建設業	(見通し ▲16.7 今期比 ▲5.7)
小売業	(見通し ▲14.2 今期比 7.2)
卸売業	(見通し 21.8 今期比 21.8)
サービス業	(見通し 46.7 今期比 ▲8.8)
その他業	(見通し 16.0 今期比 ▲4.0)

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では11.1ポイント改善の18.3、非製造業では0.8ポイント改善の16.6、全業種で3.7ポイント改善の17.1と見通している。製造業の好転、やや好転の要因として、「受注が堅調」、「取引先が回転した」等が挙げられた。非製造業の建設業、サービス業、その他業では、「資材・燃料価格の高騰」「受注の見通しが不透明」などを悪化要因として今期比マイナスを示した一方、卸売業では「コロナからの脱却」、「飲食業界の売上UP」などの理由から大きく好転する見通しとなった。

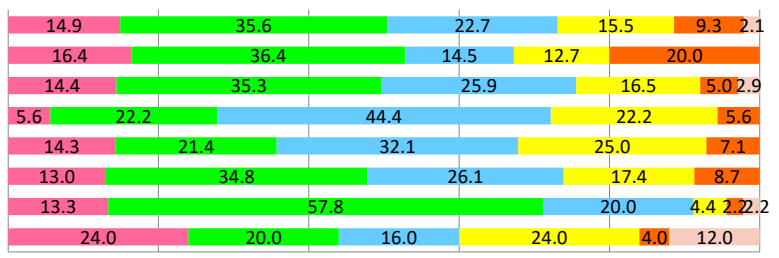
【売上DI値】

今期(2023年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 25.7 前期比 8.0)
製造業	(今期 20.1 前期比 ▲4.0)
非製造業	(今期 28.2 前期比 ▲13.2)
建設業	(今期 0.0 前期比 ▲11.8)
小売業	(今期 3.6 前期比 ▲6.4)
卸売業	(今期 21.7 前期比 ▲11.4)
サービス業	(今期 64.5 前期比 43.2)
その他業	(今期 16.0 前期比 ▲26.9)

(売上)

(単位:%)



■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2023年1月～6月)の状況

売上DI値は、製造業で20.1(前期比▲4.0)、非製造業で28.2(前期比+13.2)、全業種で25.7(前期比+8.0)となり、今期DI値としてマイナスを示した業種は無く、全体的には増加傾向となった。増加、やや増加の要因としては、「コロナの終息に伴う需要回復」、「半導体など部材不足の解消」、「原価高騰を売価へ価格転嫁」などが挙げられた。一方、非製造業のうち前期比でマイナスとなった小売業、その他業では「景気の低迷」、「顧客の購買意欲の低下」などが要因として挙げられた。

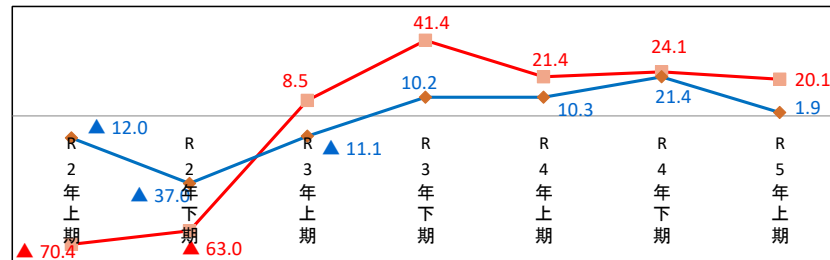
※前期比とは、前回調査(令和4年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

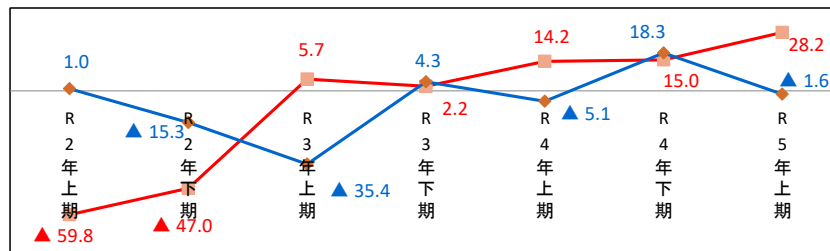
● 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

● 前期調査時点での
今期見通し

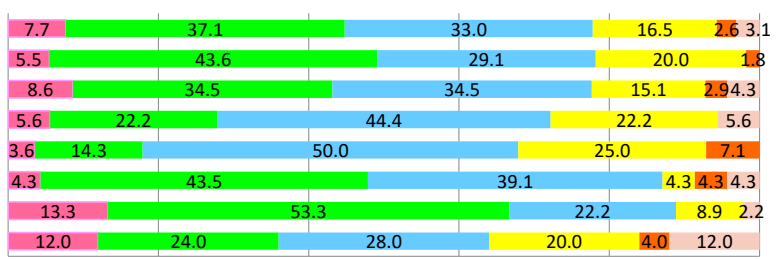


来期(2023年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 25.7 今期比 0.0)
製造業	(見通し 27.3 今期比 7.2)
非製造業	(見通し 25.1 今期比 ▲3.1)
建設業	(見通し 5.6 今期比 5.6)
小売業	(見通し ▲14.2 今期比 ▲17.8)
卸売業	(見通し 39.2 今期比 ▲17.5)
サービス業	(見通し 57.7 今期比 ▲6.8)
その他業	(見通し 12.0 今期比 ▲4.0)

(売上)

(単位:%)



■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2023年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で7.2ポイント好転の27.3、非製造業で▲3.1ポイント悪化の25.1、全業種で横ばいの25.7と見通している。製造業で今期比プラスと見通しているが、小売業では依然「人通りの減少」などによる影響などがうかがえ、今期比▲17.8ポイント悪化し来期見通しがマイナス域に転じたほか、サービス業とその他業においても今期比マイナスとなり非製造業全体を押し下げた。

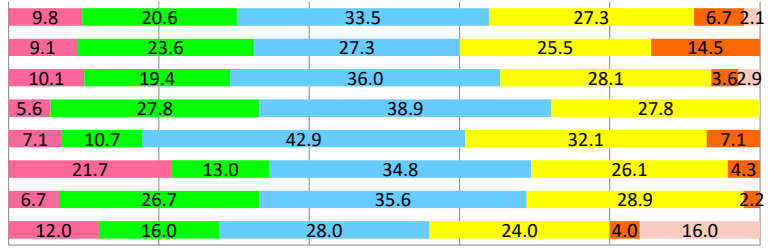
【 採算DI値 】

今期（2023年1月～6月）のDI値

全業種	（今期 ▲3.6 前期比 15.7）
製造業	（今期 ▲7.3 前期比 20.5）
非製造業	（今期 ▲2.2 前期比 13.5）
建設業	（今期 5.6 前期比 46.8）
小売業	（今期 ▲21.4 前期比 ▲6.4）
卸売業	（今期 4.3 前期比 31.9）
サービス業	（今期 2.3 前期比 6.6）
その他業	（今期 0.0 前期比 0.0）

（採 算）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

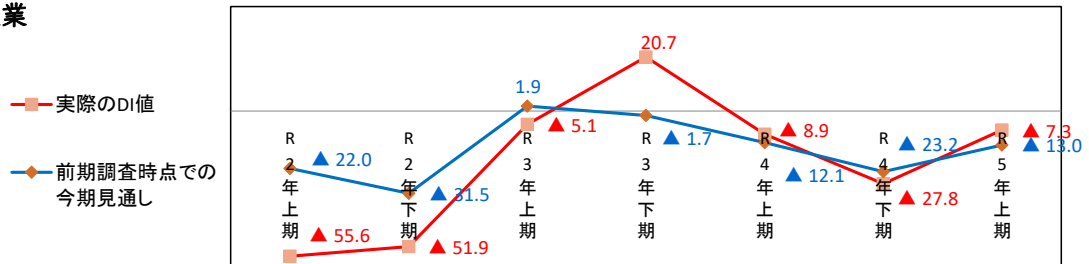
今期（2023年1月～6月）の状況

採算DI値は、製造業で▲7.3（前期比+20.5）、非製造業で▲2.2（前期比+13.5）、全業種で▲3.6（前期比+15.7）となった。製造業、非製造業ともに前期比で好転傾向が見られるものの、依然として「原材料価格、エネルギー価格の高騰」によるコスト増の影響が続くとともに、「人件費の高騰」もありマイナス域を脱するに至らなかった。一方で、好転、やや好転した要因として「販売価格の値上げ」という回答から価格転嫁への取組が利益確保に繋がっていることも伺えた。

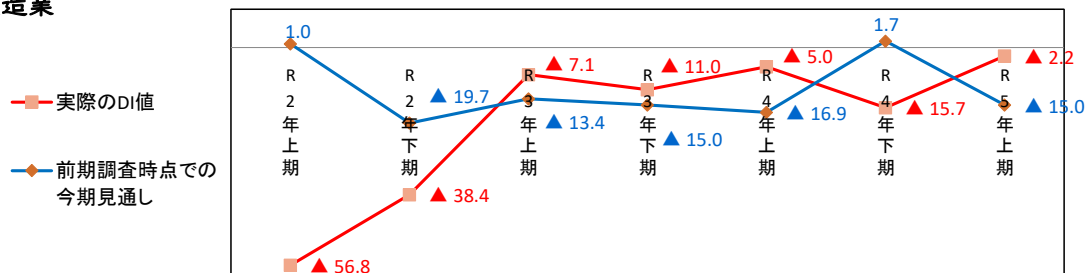
※前期比とは、前回調査（令和4年12月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業



非製造業

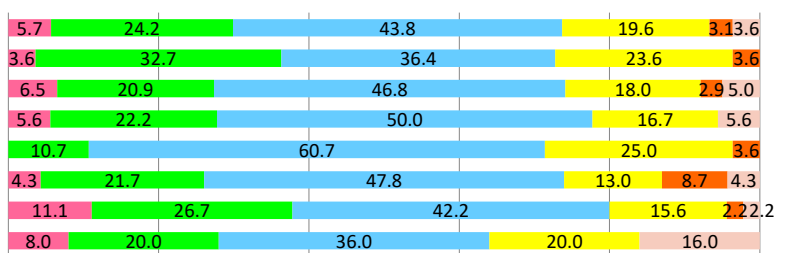


来期（2023年7月～12月）の見通しDI値

全業種	（見通し 7.2 今期比 10.8）
製造業	（見通し 9.1 今期比 16.4）
非製造業	（見通し 6.5 今期比 8.7）
建設業	（見通し 11.1 今期比 5.5）
小売業	（見通し ▲17.9 今期比 3.5）
卸売業	（見通し 4.3 今期比 0.0）
サービス業	（見通し 20.0 今期比 17.7）
その他業	（見通し 8.0 今期比 8.0）

（採 算）

（単位：%）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期（2023年7月～12月）の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で16.4ポイント改善の9.1、非製造業で8.7ポイントの改善の6.5、全業種で10.8ポイント改善の7.2と見通しており、いずれもマイナス域から脱しプラスに転じた。好転、やや好転の要因として、「価格転嫁による利益率の改善」、「コロナの収束」、「需要の回復」などが挙げられた。小売業では今期比3.5ポイントの改善を示したものの、マイナス域は脱せず依然厳しい見通しとなった。

【 資金繰りDI値 】

今期(2023年1月～6月)のDI値

				(資金繰り)		(単位:%)	
全業種	(今期 ▲2.0	前期比	7.9)	4.6	9.8	67.0	14.9 152.1
製造業	(今期 ▲3.6	前期比	0.1)	1.8	10.9	70.9	14.5 1.8
非製造業	(今期 ▲1.3	前期比	11.3)	5.8	9.4	65.5	15.1 142.9
建設業	(今期 11.2	前期比	23.0)	5.6	16.7	66.7	11.1
小売業	(今期 ▲14.3	前期比	10.7)	3.6	3.6	71.4	17.9 3.6
卸売業	(今期 8.7	前期比	19.0)	8.7	8.7	73.9	8.7
サービス業	(今期 ▲11.1	前期比	▲0.5)	4.4	11.1	57.8	24.4 2.2
その他業	(今期 12.0	前期比	19.1)	8.0	8.0	64.0	4.0 16.0

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2023年1月～6月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で▲3.6(前期比+0.1)、非製造業で▲1.3(前期比+11.3)、全業種で▲2.0(前期比+7.9)となった。サービス業以外の業種では前期比プラスとなったものの製造業、非製造業ともにマイナス域で推移し、特に小売業とサービス業において、厳しい資金繰りの状況が続いている。

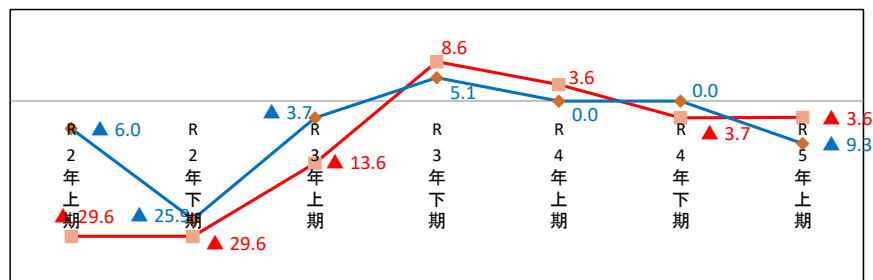
※前期比とは、前回調査(令和4年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

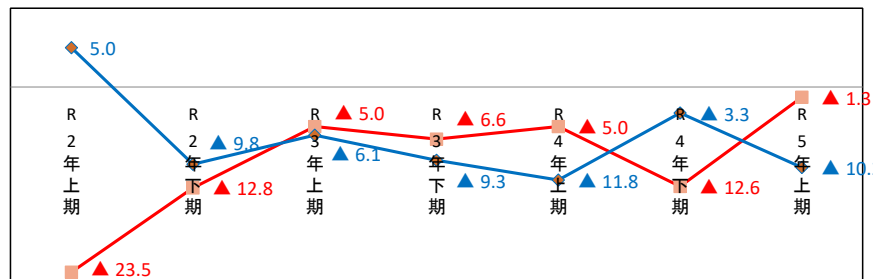
— 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し



来期(2023年7月～12月)の見通しDI値

				(資金繰り)		(単位:%)	
全業種	(見通し 1.5	今期比	3.5)	4.1	8.8	71.6	9.3 14.1
製造業	(見通し 1.8	今期比	5.4)	1.8	10.9	76.4	9.1 1.8
非製造業	(見通し 1.3	今期比	2.6)	5.0	7.9	69.8	9.4 2.2 5.8
建設業	(見通し ▲5.5	今期比	▲16.7)	5.6		77.8	11.1 5.6
小売業	(見通し ▲3.5	今期比	10.8)	3.6	3.6	82.1	10.7
卸売業	(見通し 0.0	今期比	▲8.7)	4.3	4.3	78.3	4.3 4.3 4.3
サービス業	(見通し 6.7	今期比	17.8)	8.9	15.6	53.3	15.6 2.2 4.4
その他業	(見通し 4.0	今期比	▲8.0)	4.0	4.0	72.0	4.0 16.0

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

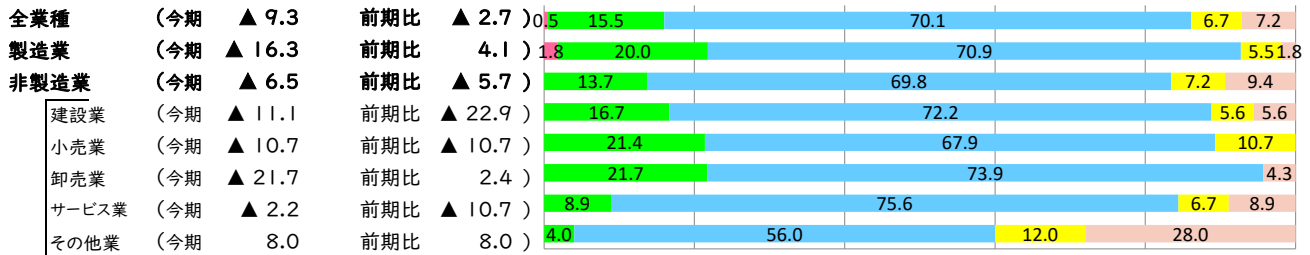
■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2023年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で5.4ポイント改善の1.8、非製造業で2.6ポイント改善の1.3、全業種で1.5と見通している。製造業、非製造業ともに今期比プラスとなり来期の見通しもプラスに転じ、全体としては資金繰りの好転を見通しているものの、建設業、卸売業、その他業では今期比マイナスとなり、建設業は再びマイナス域に転じる見通しとなった。

【在庫DI値】

今期(2023年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2023年1月～6月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲16.3(前期比+4.1)、非製造業で▲6.5(前期比▲5.7)、全業種で▲9.3(前期比▲2.7)となった。製造業では、前期比でプラスとなったものの在庫の依然として在庫の過剰傾向が続いており、非製造業のうち建設業、小売業、サービス業で前期比で大きくマイナスとなり、在庫過剰に転じた。

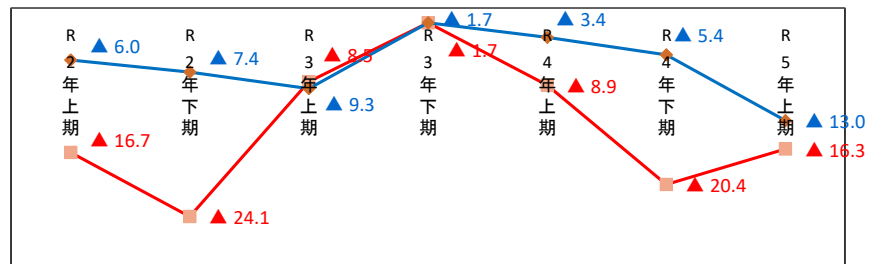
※前期比とは、前回調査(令和4年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

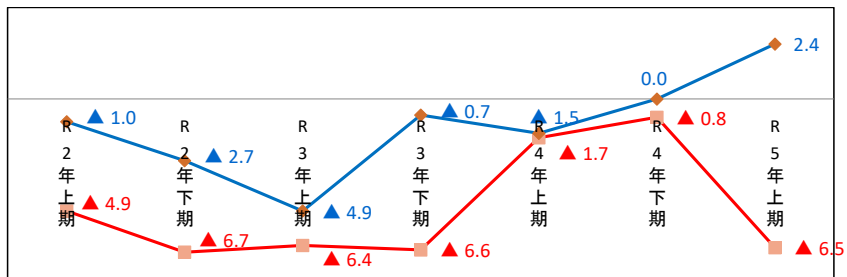
— 前期調査時点での
今期見通し



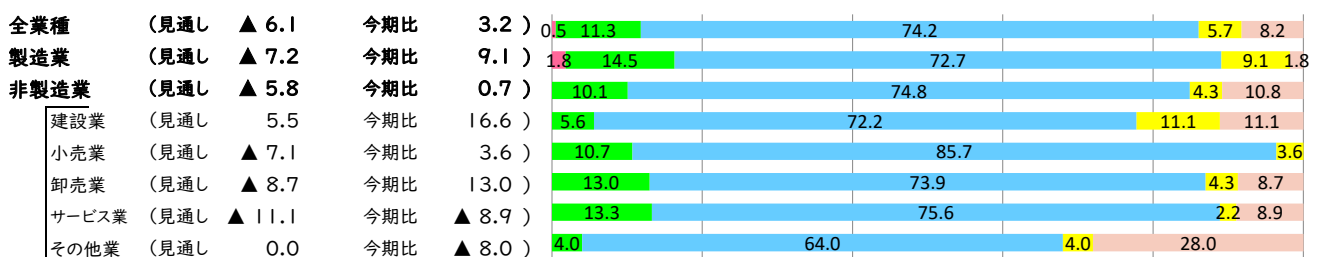
非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での
今期見通し



来期(2023年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で9.1ポイント改善の▲7.2、非製造業で0.7ポイント改善の▲5.8、全業種で3.2ポイント改善の▲6.1と見通している。製造業、非製造業ともに今期比プラスとなるもマイナス域を脱せず過剰傾向が続く見通しとなった。非製造業を業種別で見ると、サービス業で今期比マイナスとなり、過剰傾向がさらに強まる見通しとなった。

【仕入単価DI値】

今期(2023年1月～6月)のDI値

				(仕入単価)	(単位:%)
全業種	(今期 ▲73.7	前期比 4.2)		42.8	34.5 13.4 2.1 1.5 5.7
製造業	(今期 ▲72.7	前期比 12.5)		52.7	29.1 5.5 3.6 5.5 3.6
非製造業	(今期 ▲74.1	前期比 0.7)		38.8	36.7 16.5 1.4 6.5
建設業	(今期 ▲88.9	前期比 5.2)		55.6	38.9 5.6
小売業	(今期 ▲82.1	前期比 ▲12.1)		35.7	50.0 10.7 3.6
卸売業	(今期 ▲87.0	前期比 ▲7.7)		52.2	34.8 8.7 4.3
サービス業	(今期 ▲71.1	前期比 ▲0.9)		37.8	33.3 24.4 4.4
その他業	(今期 ▲48.0	前期比 16.3)		20.0	28.0 28.0 24.0

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2023年1月～6月)の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲72.7(前期比+12.5)、非製造業▲74.1(前期比+0.7)、全業種で▲73.7(前期比+4.2)となった。製造業、非製造業ともに前期比でプラスとなったものの、依然として大幅なマイナスとなり、前期調査時点での今期見通しを下回る結果となり、仕入単価の上昇による影響が継続している。非製造業を業種別に見ると、とりわけ小売業、卸売業、サービス業では前期比マイナスとなり、上昇傾向がますます強まった結果となった。

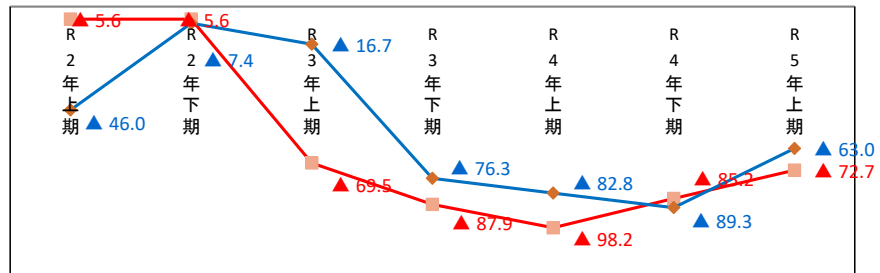
※前期比とは、前回調査(令和4年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

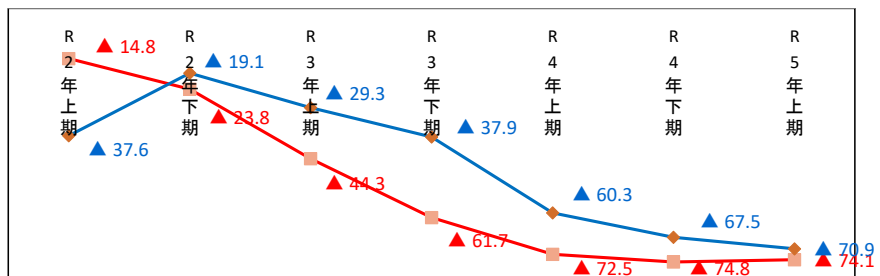
■ 前期調査時点での
今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での
今期見通し



来期(2023年7月～12月)の見通しDI値

				(仕入単価)	(単位:%)
全業種	(見通し ▲66.0	今期比 7.7)		24.7	42.3 24.7 1.0 7.2
製造業	(見通し ▲76.4	今期比 ▲3.7)		32.7	45.5 18.2 1.8 1.8
非製造業	(見通し ▲61.9	今期比 12.2)		21.6	41.0 27.3 0.7 9.4
建設業	(見通し ▲72.2	今期比 16.7)		22.2	50.0 22.2 5.6
小売業	(見通し ▲75.0	今期比 7.1)		21.4	53.6 21.4 3.6
卸売業	(見通し ▲65.2	今期比 21.8)		30.4	34.8 26.1 8.7
サービス業	(見通し ▲60.0	今期比 11.1)		22.2	37.8 33.3 6.7
その他業	(見通し ▲40.0	今期比 8.0)		12.0	32.0 28.0 4.0 24.0

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

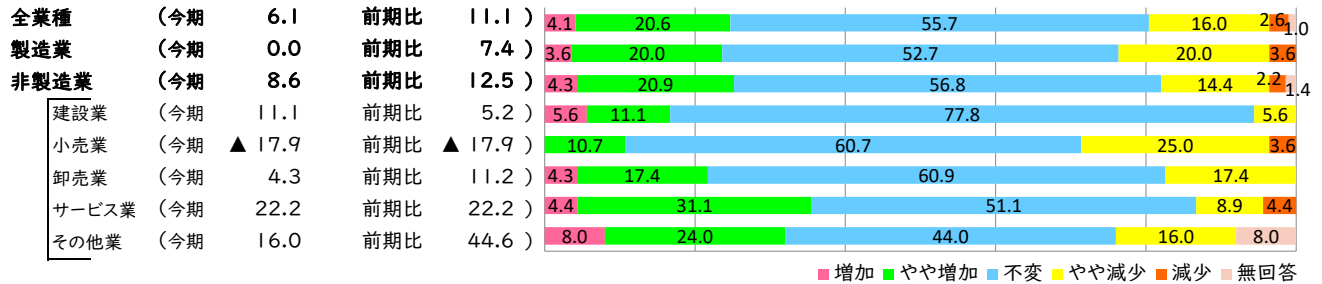
■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で3.7ポイント悪化の▲76.4、非製造業で12.2ポイント改善の▲61.9、全業種で7.7ポイント改善の▲66.0と見通している。製造業では今期比マイナスとなり仕入単価の上昇傾向が続く見通しとなり、非製造業では全ての業種で今期比プラスとなり、来期における上昇傾向はやや落ち着く見通しとなったが、依然大幅なマイナス域で推移し今後も影響は続くものと考えられる。

【 従業員数DI値 】

今期（2023年1月～6月）のDI値



今期（2023年1月～6月）の状況

従業員数DI値は、製造業で0.0（前期比+7.4）、非製造業で8.6（前期比+12.5）、全業種で6.1（前期比+11.1）となった。前期は製造業、非製造業ともマイナス（減少傾向）であったが、今期は小売業を除く全ての業種で前期比プラスとなり、製造業、非製造業ともにマイナス域を脱し、増加傾向に転じた。一方で、従業員の過不足については全業種（DI値+34.6）で大幅に不足しており、「人手不足」が深刻な経営課題となっていることが伺えた。

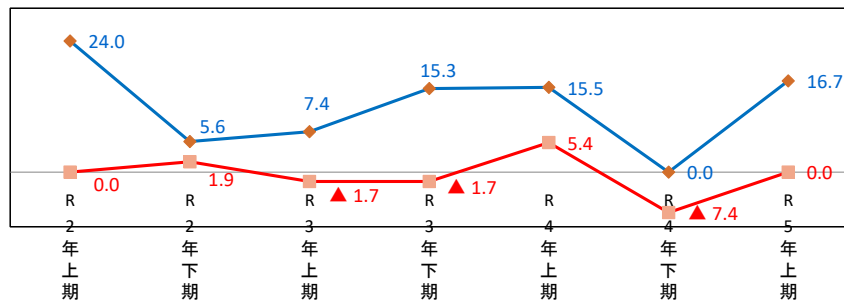
※前期比とは、前回調査（令和4年12月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

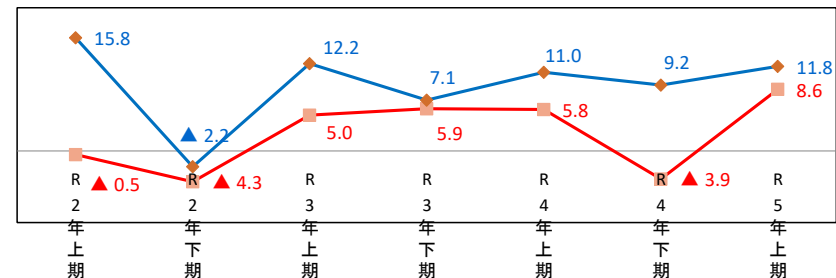
■ 前期調査時点での
今期見通し



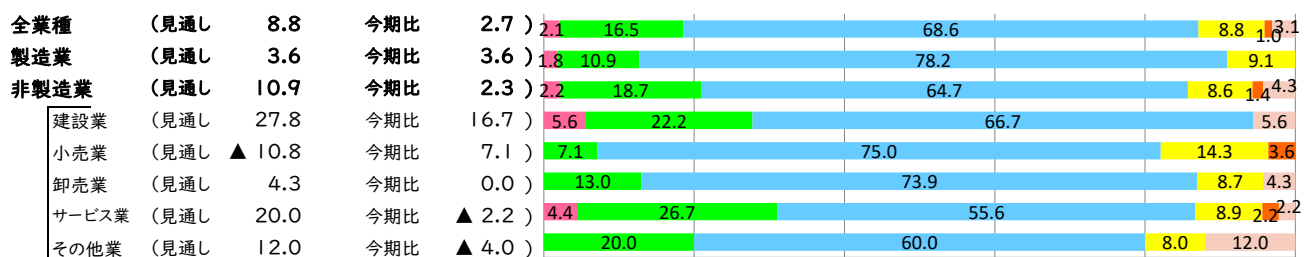
非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での
今期見通し



来期（2023年7月～12月）の見通しDI値



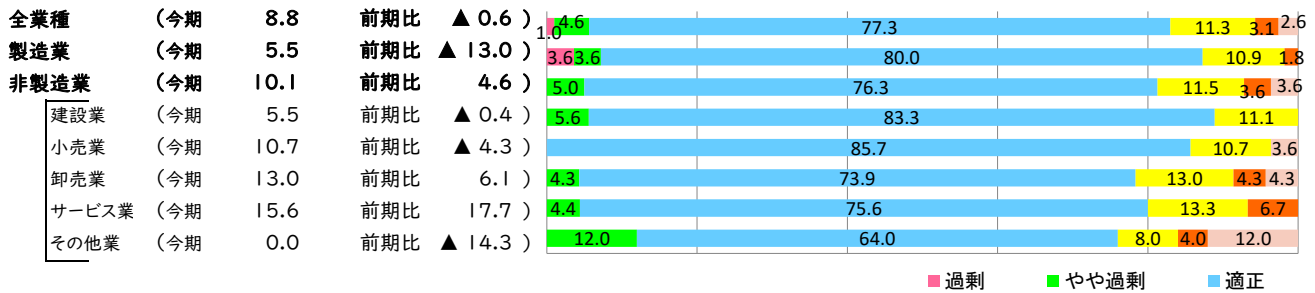
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期（2023年7月～12月）の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で3.6ポイント上昇の3.6、非製造業で2.3ポイント上昇の10.9、全業種では2.7ポイント上昇の8.8と見通している。非製造業のうちサービス業とその他業で今期比やや減少、小売業では今期比プラスとなるも依然マイナス域で推移する見通しとなったものの、全体としては今期に引き続き増加傾向が続く見通しとなった。一方で、従業員の過不足については、来期においても全業種（DI値+33.5）で不足の見通しとなっており、従業員は増加傾向にあるものの「人手不足」の解消には繋がらず、今後も深刻な課題と捉えられていることが伺えた。

【設備DI値】

今期(2023年1月～6月)のDI値



今期(2023年1月～6月)の状況

設備DI値は、製造業で5.5(前期比▲13.0)、非製造業で10.1(前期比+4.6)、全業種で8.8(前期比▲0.6)となった。製造業、非製造業ともにプラス域で推移し、前期に引き続き設備不足の傾向がうかがえ、とりわけ卸売業とサービス業では不足傾向が強まった。

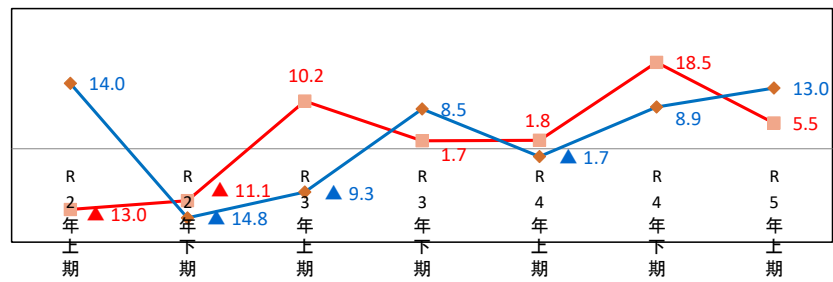
※前期比とは、前回調査(令和4年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

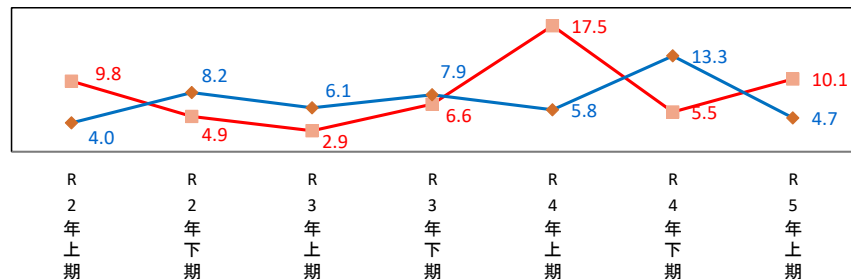
■ 前期調査時点での
今期見通し



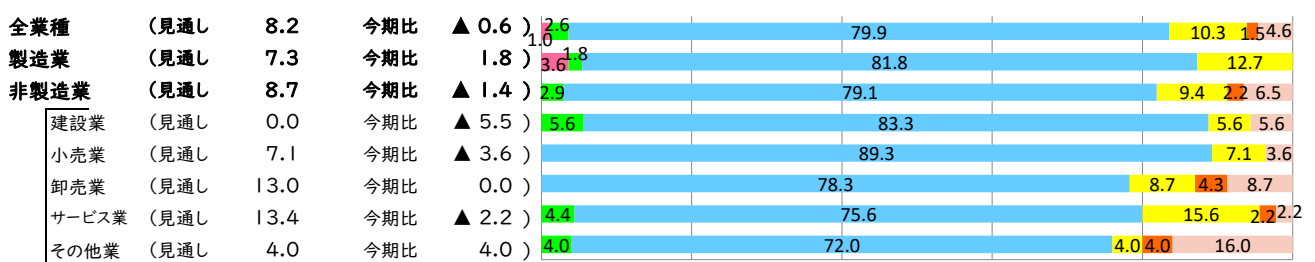
非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での
今期見通し



来期(2023年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

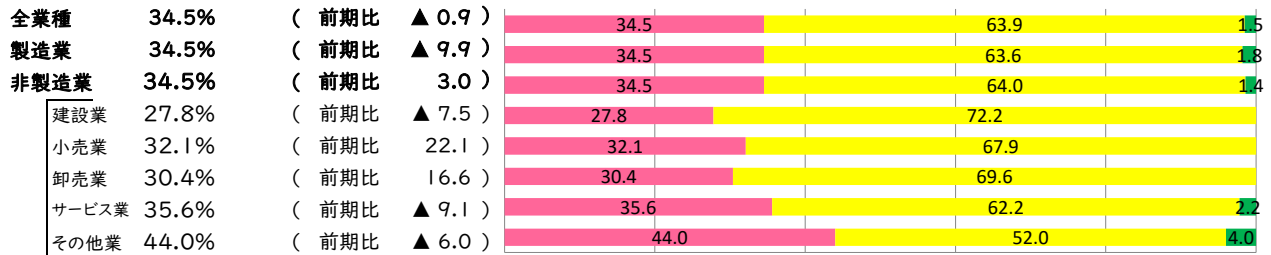
今期と比較した来期(2023年7月～12月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で▲0.6ポイントの8.2、非製造業で1.8ポイント上昇の7.3、全業種で▲0.6ポイントの8.2と見通しており、来期においても製造業、非製造業ともに設備不足の見通しとなった。

【 新規設備投資 】

◆ 今期（2023年1月～6月）の新規設備投資を実施した割合

（単位：％）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない

※前期比とは、前回調査（令和4年12月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

◆ 来期（2023年7月～12月）の新規設備投資を計画している割合

（単位：％）



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	0.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
需要の停滞	21.8%	17.3%	③ 27.8%	17.9%	② 30.4%	8.9%	12.0%
為替差損	5.5%	1.4%	0.0%	3.6%	0.0%	2.2%	0.0%
売上単価の低下	7.3%	4.3%	5.6%	7.1%	4.3%	2.2%	4.0%
新規参入業者の増加	1.8%	4.3%	5.6%	0.0%	4.3%	6.7%	4.0%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	16.4%	8.6%	0.0%	③ 21.4%	8.7%	4.4%	8.0%
生産設備の不足・老朽化	18.2%	4.3%	0.0%	3.6%	4.3%	6.7%	4.0%
原材料の不足	5.5%	3.6%	5.6%	7.1%	4.3%	2.2%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 54.5%	① 44.6%	① 77.8%	① 57.1%	① 43.5%	① 37.8%	20.0%
下請負単価の上昇	3.6%	6.5%	② 33.3%	3.6%	8.7%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	1.8%	4.3%	5.6%	3.6%	8.7%	0.0%	8.0%
取引条件の悪化	0.0%	2.9%	0.0%	7.1%	4.3%	2.2%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.7%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	4.3%	11.1%	3.6%	4.3%	4.4%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	1.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%
価格への転嫁難	16.4%	10.8%	16.7%	3.6%	13.0%	11.1%	12.0%
人件費の増加	③ 21.8%	③ 20.1%	11.1%	10.7%	13.0%	② 28.9%	② 28.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%
駐車場の確保難	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	3.6%	8.6%	0.0%	10.7%	0.0%	8.9%	20.0%
従業員・熟練技術者の確保難	20.0%	② 23.0%	16.7%	② 28.6%	13.0%	③ 26.7%	③ 24.0%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	② 27.3%	② 23.0%	16.7%	10.7%	③ 21.7%	17.8%	① 52.0%
コロナの影響	1.8%	6.5%	5.6%	7.1%	4.3%	8.9%	4.0%
ウクライナ情勢の影響	1.8%	7.2%	0.0%	10.7%	4.3%	8.9%	8.0%
その他	1.8%	2.9%	5.6%	3.6%	4.3%	2.2%	0.0%

参考資料

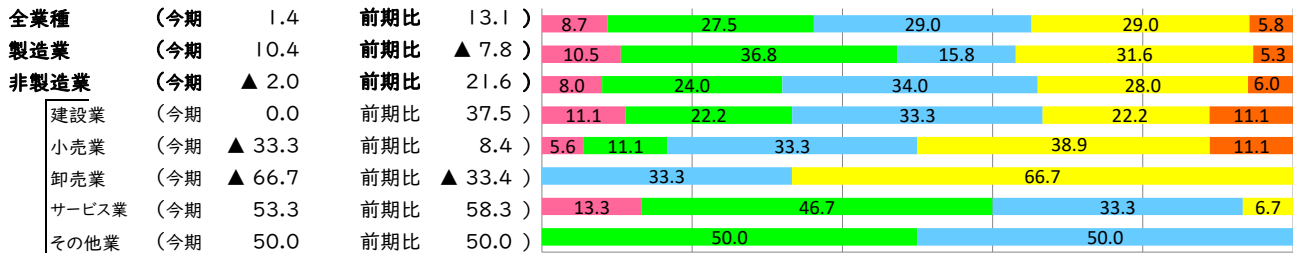
小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）
※宿泊業および娯楽業は20人以下
景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2023年1月1日から2023年6月30日（2023年（令和5年）上期）
- 調査実施期間：2023年7月1日から2023年7月18日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 344 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：69（回答率 20.1％）

業種		従業員数	0～5人	6～20人	合計
製造業			9	10	19
非製造業	建設業		5	4	9
	小売業		18		18
	卸売業		6		6
	サービス業		13	2	15
	その他業		2		2
合計			53	16	69

業況DI

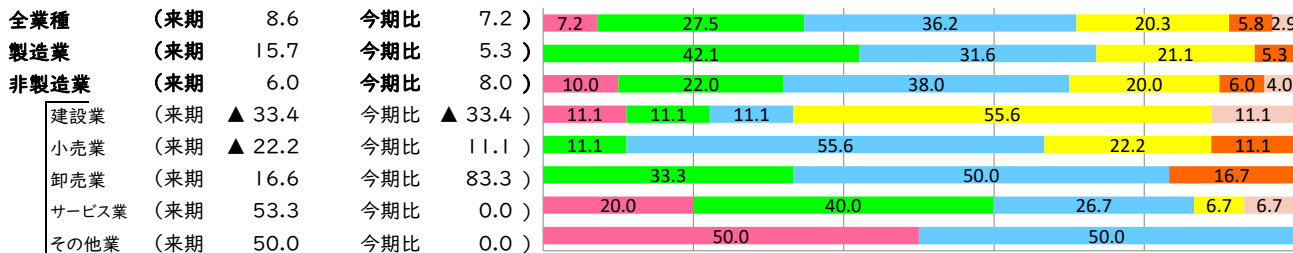
今期（2023年1月～6月）のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期（2023年7月～12月）の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

売上DI

今期(2023年1月~6月)のDI値

(売上)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

来期(2023年7月~12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

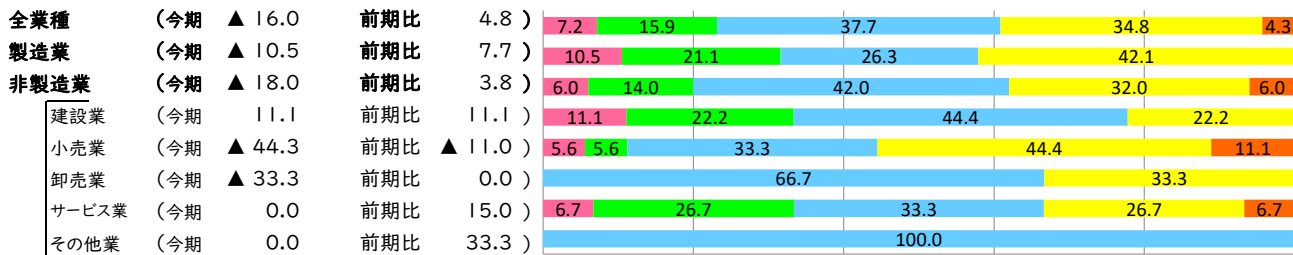
■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

採算DI

今期(2023年1月~6月)のDI値

(採算)

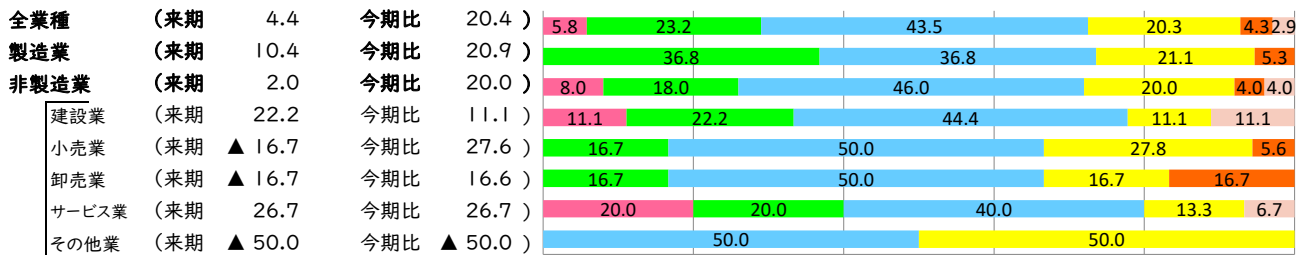
(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2023年7月~12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

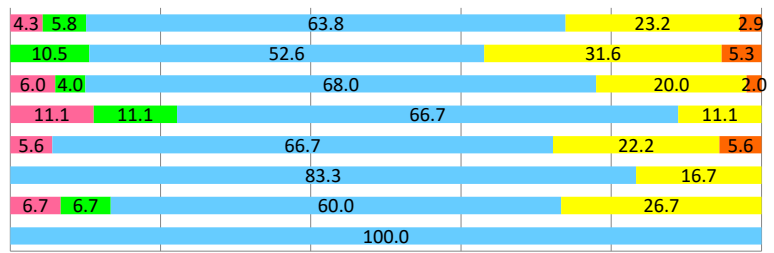
資金繰りDI

今期(2023年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲16.0	前期比 0.9)
製造業	(今期 ▲26.4	前期比 ▲12.8)
非製造業	(今期 ▲12.0	前期比 6.2)
建設業	(今期 11.1	前期比 23.6)
小売業	(今期 ▲22.2	前期比 11.1)
卸売業	(今期 ▲16.7	前期比 ▲8.4)
サービス業	(今期 ▲13.3	前期比 1.7)
その他業	(今期 0.0	前期比 33.3)

(資金繰り)

(単位:%)

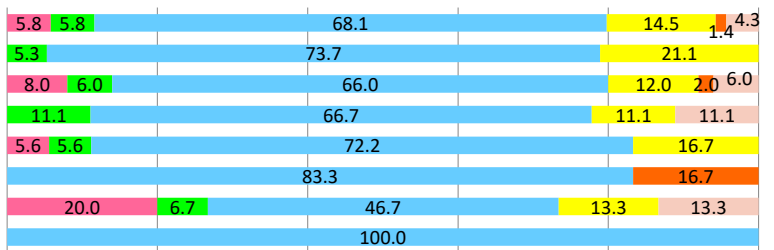


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(2023年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲4.3	今期比 11.7)
製造業	(来期 ▲15.8	今期比 10.6)
非製造業	(来期 0.0	今期比 12.0)
建設業	(来期 0.0	今期比 ▲11.1)
小売業	(来期 ▲5.5	今期比 16.7)
卸売業	(来期 ▲16.7	今期比 0.0)
サービス業	(来期 13.4	今期比 26.7)
その他業	(来期 0.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

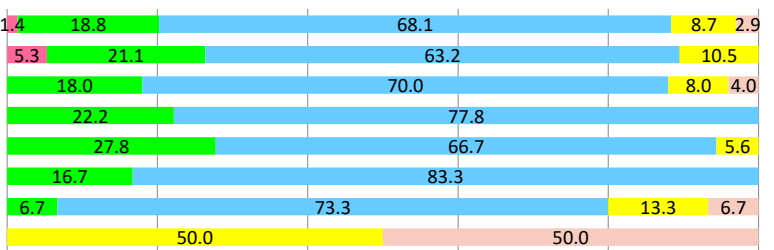
在庫DI

今期(2023年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲11.5	前期比 ▲3.7)
製造業	(今期 ▲15.9	前期比 2.3)
非製造業	(今期 ▲10.0	前期比 ▲6.4)
建設業	(今期 ▲22.2	前期比 ▲9.7)
小売業	(今期 ▲22.2	前期比 ▲13.9)
卸売業	(今期 ▲16.7	前期比 16.6)
サービス業	(今期 6.6	前期比 ▲8.4)
その他業	(今期 50.0	前期比 16.7)

(在庫)

(単位:%)

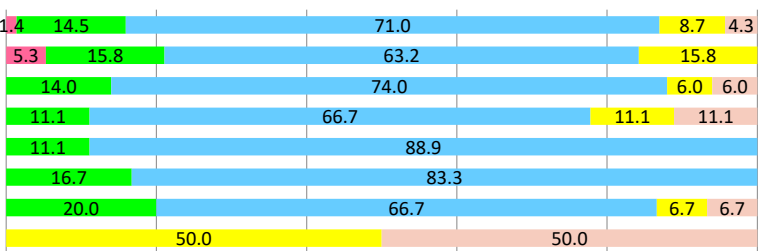


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2023年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲7.2	今期比 4.3)
製造業	(来期 ▲5.3	今期比 10.6)
非製造業	(来期 ▲8.0	今期比 2.0)
建設業	(来期 0.0	今期比 22.2)
小売業	(来期 ▲11.1	今期比 11.1)
卸売業	(来期 ▲16.7	今期比 0.0)
サービス業	(来期 ▲13.3	今期比 ▲19.9)
その他業	(来期 50.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

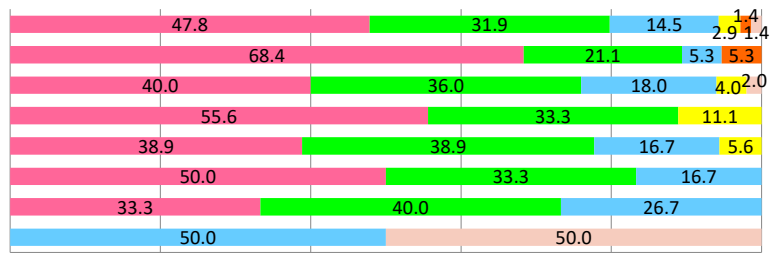
仕入単価DI

今期(2023年1月~6月)のDI値

全業種	(今期 ▲75.4	前期比 ▲1.4)
製造業	(今期 ▲84.2	前期比 6.7)
非製造業	(今期 ▲72.0	前期比 ▲4.7)
建設業	(今期 ▲77.8	前期比 9.7)
小売業	(今期 ▲72.2	前期比 ▲13.9)
卸売業	(今期 ▲83.3	前期比 0.0)
サービス業	(今期 ▲73.3	前期比 ▲13.3)
その他業	(今期 0.0	前期比 33.3)

(仕入単価)

(単位:%)

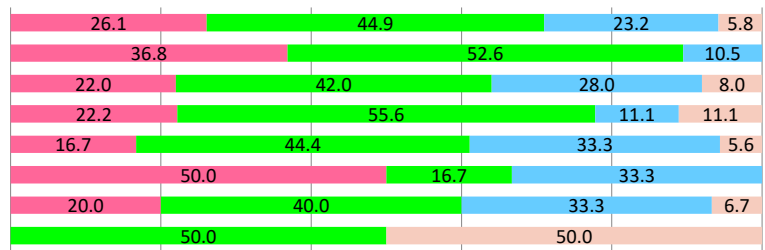


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2023年7月~12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲71.0	今期比 4.4)
製造業	(来期 ▲89.4	今期比 ▲5.2)
非製造業	(来期 ▲64.0	今期比 8.0)
建設業	(来期 ▲77.8	今期比 0.0)
小売業	(来期 ▲61.1	今期比 11.1)
卸売業	(来期 ▲66.7	今期比 16.6)
サービス業	(来期 ▲60.0	今期比 13.3)
その他業	(来期 ▲50.0	今期比 ▲50.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

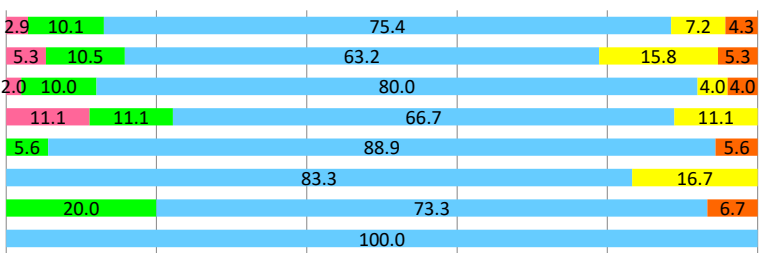
従業員数DI

今期(2023年1月~6月)のDI値

全業種	(今期 1.5	前期比 11.9)
製造業	(今期 ▲5.3	前期比 3.8)
非製造業	(今期 4.0	前期比 14.9)
建設業	(今期 11.1	前期比 ▲1.4)
小売業	(今期 0.0	前期比 0.0)
卸売業	(今期 ▲16.7	前期比 16.6)
サービス業	(今期 13.3	前期比 18.3)
その他業	(今期 0.0	前期比 66.7)

従業員数

(単位:%)

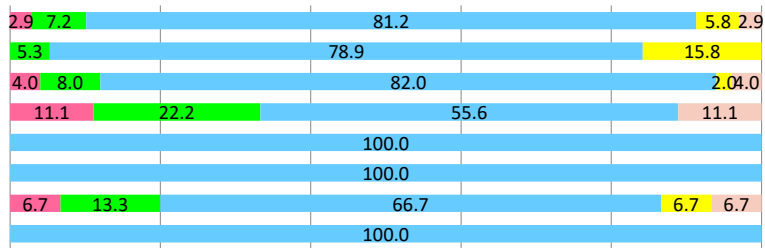


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2023年7月~12月)の見通しDI値

全業種	(来期 4.3	今期比 2.8)
製造業	(来期 ▲10.5	今期比 ▲5.2)
非製造業	(来期 10.0	今期比 6.0)
建設業	(来期 33.3	今期比 22.2)
小売業	(来期 0.0	今期比 0.0)
卸売業	(来期 0.0	今期比 16.7)
サービス業	(来期 13.3	今期比 0.0)
その他業	(来期 0.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

設備DI

今期(2023年1月~6月)のDI値

設備

(単位:%)

全業種	(今期 11.6 前期比 ▲1.4)	4.3	76.8	13.0	2.9
製造業	(今期 26.3 前期比 3.6)	5.3	63.2	26.3	5.3
非製造業	(今期 6.0 前期比 ▲3.1)	4.0	82.0	8.0	4.0
建設業	(今期 0.0 前期比 0.0)	11.1	77.8	11.1	
小売業	(今期 5.6 前期比 ▲19.4)		88.9	5.6	5.6
卸売業	(今期 0.0 前期比 ▲8.3)		83.3	16.7	
サービス業	(今期 13.3 前期比 8.3)	6.7	73.3	13.3	6.7
その他業	(今期 0.0 前期比 0.0)		100.0		

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2023年7月~12月)の見通しDI値

全業種	(来期 10.1 今期比 ▲1.5)	2.9	78.3	13.0	5.8
製造業	(来期 26.3 今期比 0.0)	5.3	63.2	31.6	
非製造業	(来期 4.0 今期比 ▲2.0)	2.0	84.0	6.0	8.0
建設業	(来期 ▲11.1 今期比 ▲11.1)	11.1	77.8	11.1	
小売業	(来期 5.6 今期比 0.0)		88.9	5.6	5.6
卸売業	(来期 0.0 今期比 0.0)		83.3	16.7	
サービス業	(来期 13.3 今期比 0.0)		80.0	13.3	6.7
その他業	(来期 0.0 今期比 0.0)		100.0		

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(2023年1月~6月)の新規設備投資を実施した割合

全業種	(今期 20.3% 前期比 7.3)	20.3	79.7	
製造業	(今期 15.8% 前期比 ▲11.5)	15.8	84.2	
非製造業	(今期 22.0% 前期比 14.7)	22.0	78.0	
建設業	(今期 22.2% 前期比 ▲27.8)	22.2	77.8	
小売業	(今期 27.8% 前期比 27.8)	27.8	72.2	
卸売業	(今期 0.0% 前期比 0.0)		100.0	
サービス業	(今期 20.0% 前期比 20.0)	20.0	80.0	
その他業	(今期 50.0% 前期比 50.0)	50.0	50.0	

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2023年7月~12月)の新規設備投資を計画している割合

全業種	(来期 20.3% 今期比 0.0)	20.3	76.8	2.9
製造業	(来期 26.3% 今期比 10.5)	26.3	73.7	
非製造業	(来期 18.0% 今期比 ▲4.0)	18.0	78.0	4.0
建設業	(来期 33.3% 今期比 11.1)	33.3	66.7	
小売業	(来期 5.6% 今期比 ▲22.2)	5.6	94.4	
卸売業	(来期 0.0% 今期比 0.0)		100.0	
サービス業	(来期 26.7% 今期比 6.7)	26.7	60.0	13.3
その他業	(来期 50.0% 今期比 0.0)	50.0	50.0	

■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

直面している課題

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
需要の停滞	5.3%	② 20.0%	② 33.3%	16.7%	② 16.7%	6.7%	① 100.0%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	5.3%	4.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
新規参入業者の増加	5.3%	6.0%	11.1%	0.0%	0.0%	6.7%	② 50.0%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	10.5%	8.0%	0.0%	② 22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
生産設備の不足・老朽化	③ 21.1%	4.0%	0.0%	5.6%	0.0%	6.7%	0.0%
原材料の不足	10.5%	2.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 52.6%	① 52.0%	① 66.7%	① 61.1%	① 33.3%	① 46.7%	0.0%
下請負単価の上昇	5.3%	4.0%	③ 22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	5.3%	2.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	4.0%	0.0%	5.6%	0.0%	6.7%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	4.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
価格への転嫁難	5.3%	14.0%	11.1%	5.6%	② 16.7%	② 26.7%	0.0%
人件費の増加	5.3%	10.0%	11.1%	5.6%	0.0%	③ 20.0%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	5.3%	8.0%	0.0%	11.1%	0.0%	13.3%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	② 31.6%	16.0%	③ 22.2%	② 22.2%	0.0%	13.3%	0.0%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	③ 21.1%	③ 18.0%	11.1%	11.1%	① 33.3%	13.3%	① 100.0%
コロナの影響	0.0%	8.0%	11.1%	5.6%	② 16.7%	6.7%	0.0%
ウクライナ情勢の影響	0.0%	12.0%	0.0%	11.1%	② 16.7%	13.3%	② 50.0%
その他	0.0%	4.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%